

タブレット端末活用動画集  
「+タブレ」

基本編②（書き込み）  
「提示した画像に書き込んで  
指導する方法を身に付けよう」



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

## はじめに (iTouch 版)



準備

コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ  
HDMIケーブル、接続アダプタ、撮影する資料等  
iTouchのインストール済みタブレット端末



基本編①では、カメラアプリで「撮って」、撮影した画像を拡大して「映す」ことで、指示説明が明確になるといった効果を感じることができました。



これから行う基本編②では、「iTouch(イタッチ)」という画像などに書き込みができるアプリを使います。

「撮った」画像を提示装置で「映して」「書き込む」ことで、見せたい部分を焦点化するタブレット端末の活用方法について研修します。



本日の研修の流れは、ご覧のようになります。

※「基本編②(書き込み)」のページを提示し Step1～Step5 の流れを確認する。



を起動

⇒

研修一覧

をクリック

⇒

「書き込み」へ

をクリック

## 「基本編②(書き込み)」のページ

基本編②  
(書き込み)

応用編へ 基本編①へ TOPへ

Step1 授業実践例を見よう

Step2 書き込みアプリを使おう

Step3 模擬授業を見よう

Step4 授業づくりをしよう

Step5 アイディアを共有しよう

提示した画像に書き込んで指導する方法を身に付けよう

## Step 1

## Step1 授業実践例を見よう

## 授業実践例を見よう



最初に、「Step1 授業実践例を見よう」です。実際の授業の様子を見ていただきます。社会の「住みよいくらしをつくる」という単元で、昔と今の給水量の違いをグラフから読み取る場面です。

では、動画を見ましょう。

**授業実践例の動画視聴**



※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



資料にあるグラフのみを拡大してデジタルテレビに映し出すことで、子供たちの視線を集中させていました。

さらに、ポイントとなる部分に印を書き込むことで、子供たちに見せる部分を焦点化していたことが分かります。

また、グラフに囲み線を書き込むことで、変化に注目させ、その後の課題を的確に示していました。

## Step2 Step2 書き込みアプリを使おう **書き込みアプリの使い方**



次は、「Step2 書き込みアプリを使おう」です。授業実践例の中でも使われていた、「iTouch (イタッチ)」の操作方法をご覧ください。

動画を見た後に、みなさんにも実践していただきます。

まずは、「アプリの起動～資料の取り込み」までの動画です。では、動画をご覧ください。

### iTouch 動画前半の視聴



※ 1分23秒 で一時停止



この画面で  
一時停止！



アプリの起動～資料の取り込みまでを見ていただきました。

お持ちいただいた資料を撮って、画像を取り込んでみましょう。

使用する画像が決まったら、「**チェックマーク**①」をタップして、画像を決定してください。

資料を取り込んだらそのままお待ちください。



つづいて、取り込んだ資料に「書き込み」をする操作方法です。

では、続きを見ましょう。

### iTouch 動画後半の視聴



※最後の操作説明画面で、一時停止してください。



この画面で  
一時停止！



メニューバーから操作を選ぶことで書き込みができます。

操作方法は画面に示しておきますので参考にしてください。

これから       分ほど時間を取ります。自由に「書き込み」の練習をしてみましょう。

### Step3 Step3 模擬授業を見よう ▶ 模擬授業を見よう



続いて、「Step3 模擬授業を見よう」です。  
技術・家庭科の授業で回路を説明する場面での活用例です。  
では、動画をご覧ください。

**模擬授業の動画視聴**



※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



授業で活用するイメージを持つことができたでしょうか。  
組み立てた回路を「撮って」、大きく「映して」、「書き込み」をしながら説明している内容でした。  
複雑に並んだ部品の中でも、特に本時で注目させたい部分を囲んで示したり、書き込んだりすることで説明が明確になっていました。  
実習を伴う教科では、このように生徒の手元にあるものと同じものを映して説明することで指示説明が的確になるので、時間の短縮につながり、より多くの活動時間を確保することができます。

### Step4 Step4 授業づくりをしよう ▶ 授業づくりをしよう



次は「Step4 授業づくりをしよう」です。お持ちいただいた資料の中から「撮って」「映して」「書き込む」ことで分かりやすくなる内容を探し、授業での活用を考えてみましょう。  
今まで「拡大印刷したり、模造紙に大きく書いたりしたものに書き込みたい」と考えて授業の際に準備していた内容と同じと考えて結構です。  
グループで相談し合いながら進めても構いません。では、始めましょう。  
  
次の Step では、各グループのアイデアを紹介していただきます。  
グループの代表を決めておいてください。

### Step5 Step5 アイディアを共有しよう ▶ アイディアを共有しよう



次は、「Step5 アイディアの共有をしよう」です。  
各グループのアイデアを代表の先生に発表していただきます。  
では、こちらのグループからお願いします（順に発表）。

## おわり



Step 1～Step 5 までの内容は終了しました。  
最後に先生方から感想を發表していただきます。  
〇〇先生からお願いします。

※内容や時間に合わせて、發表する先生の人数等を調整しましょう。



以上で、本日の研修は終了です。今後の授業で活用してみましよう。

今日の研修会で見た動画の他にも「+タブレ」のサイトには、たくさんの「活用例」があります。総合教育センターのサイトから、ご覧ください。



トップページ



模擬授業



「書き込み」  
動画へ

をクリック

をクリック

### 「模擬授業「書き込み」動画」のページ

模擬授業 「書き込み」

TOP ^

カメラアプリで  
撮って

録画録音で  
映して

書き込みアプリで  
書き込む

01 回路の画像に書き込んで、作業上の注意点を確認する	02 児童生徒の発言を書き込んで、学級全体で共有する	03 各班の実験結果を集約して書き込んで、考察させる	04 撮影した身近な風景に書き込んで、「平行」に気付かせる
05 図に補助線を書き込んで、問題の解き方に気付かせる	06 マスキングすることで語句を隠し、既習事項を確認する	07 児童生徒の絵画作品に書き込んで、特徴を際立たせる	08 問題文や図に書き込むことで、説明を明確にする



## はじめに (Sketch 版)



## 準備物

コンピュータ, デジタルテレビまたは, プロジェクタ  
HDMIケーブル, 接続アダプタ, 撮影する資料等  
Sketchのインストール済みタブレット端末



基本編①では, カメラアプリで「撮って」, 撮影した画像を拡大して「映す」ことで, 指示説明が明確になるといった効果を感じることができました。



これから行う基本編②では, 「Sketch(スキッチ)」という画像などに書き込みができるアプリを使います。

「撮った」画像を提示装置で「映して」「書き込む」ことで, 見せたい部分を焦点化するタブレット端末の活用方法について研修します。



本日の研修の流れは, ご覧のようになります。

※「基本編②(書き込み)」のページを提示し Step 1～Step 5の流れを確認する。



を起動



研修一覧

をクリック



「書き込み」へ

をクリック

## 「基本編②(書き込み)」のページ

基本編②  
(書き込み)

応用編へ 基本編①へ TOPへ

Step1 授業実践例を見よう

Step2 書き込みアプリを使おう

Step3 模擬授業を見よう

Step4 授業づくりをしよう

Step5 アイディアを共有しよう

提示した画像に書き込んで指導する方法を身に付けよう

**Step 1****Step1 授業実践例を見よう****授業実践例を見よう**

最初に、「Step1 授業実践例を見よう」です。

社会の「住みよいくらしをつくる」という単元で、昔と今の給水量の違いをグラフから読み取る場面です。

では、動画を見ましょう。

**授業実践例の動画視聴**



※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



資料にあるグラフのみを拡大してデジタルテレビに映し出すことで、子供たちの視線を集中させていました。

さらに、ポイントとなる部分に印を書き込むことで、子供たちに見せる部分を焦点化していたことが分かります。

また、グラフに囲み線を書き込むことで、変化に注目させ、その後の課題を的確に示していました。



## Step2 Step2 書き込みアプリを使おう **書き込みアプリの使い方**



次に、授業実践例の中でも使われていた、Skitch(スキッチ)の操作方法をご覧ください。  
動画を見た後に、みなさんにも実践していただきます。  
まずは、「アプリの起動～資料の取り込み」までの動画です。では、動画を見ましょう。

### Skitch 動画前半の視聴



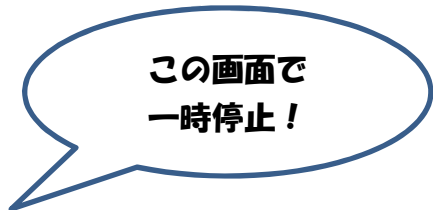
※ Android 端末および iPad は、1 分 4 秒 で一時停止  
Windows 端末は、1 分 15 秒 で一時停止



Android, iPad 版



Windows 版



アプリの起動～資料の取り込みまでを見ていただきました。  
お持ちいただいた資料を撮って、画像を取り込んでみましょう。  
使用する画像が決まったら、「**チェックマーク**④」をタップして、画像を決定してください。  
この後、画像に書き込みをしていきます。  
資料を取り込んだらそのままお待ちください。



つづいて、取り込んだ資料に「書き込み」をする操作方法です。  
では、続きを見ましょう。

### Skitch 動画後半の視聴



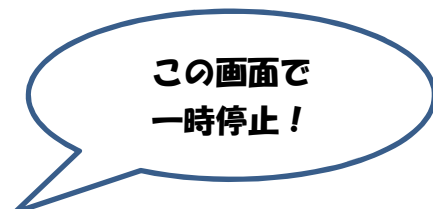
※最後の操作説明画面で、一時停止してください。



Android, iPad 版



Windows 版



メニューバーから操作を選ぶことで書き込みができます。  
操作方法は画面に示しておきますので参考にしてください。  
これから      分ほど時間を取ります。自由に「書き込み」の練習をしてみましょう。

### Step3 Step3 模擬授業を見よう ▶ 模擬授業を見よう



続けて、「Step3 模擬授業を見よう」です。  
技術・家庭科の授業で回路を説明する場面での活用例です。  
では、動画を見ましょう。

**模擬授業の動画視聴**



※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



授業で活用するイメージを持つことができたでしょうか。  
組み立てた回路を「撮って」、大きく「映して」、「書き込み」をして説明している内容でした。  
複雑に並んだ部品の中でも、特に本時で注意させたい部分を囲んで示したり、書き込んだりすることで説明が明確になっていました。  
実習を伴う教科では、このように生徒の手元にあるものと同じものを映して説明することで指示説明が的確になるので、時間の短縮につながり、より多くの活動時間を確保することができます。

### Step4 Step4 授業づくりをしよう ▶ 授業づくりをしよう



次は「Step4 授業づくりをしよう」です。お持ちいただいたの資料の中から「撮って」「映して」「書き込む」ことで分かりやすくなる内容を探し、授業での活用を考えてみましょう。  
今まで「拡大印刷したり、模造紙に大きく書いたものに書き込みたい」と考えて授業の際に準備していた内容と同じと考えて結構です。  
グループで相談し合いながら進めても構いません。では、始めましょう。  
  
次の Step では、各グループのアイデアを紹介していただきます。  
グループの代表を決めておいてください。

### Step5 Step5 アイディアを共有しよう ▶ アイディアを共有しよう



次は、「Step5 アイディアを共有しよう」です。  
各グループのアイデアを代表の先生に発表していただきます。  
では、こちらのグループからお願いします（順に発表）。

## おわり



Step 1～Step 5 までの内容は終了しました。  
最後に先生方から感想を発表していただきます。  
〇〇先生からお願いします。

※内容や時間に合わせて、発表する先生の人数等を調整しましょう。



以上で、本日の研修は終了です。 今後の授業で活用してみましょう。

今日の研修会で見た動画の他にも「+タブレ」のサイトには、たくさんの「活用例」があります。総合教育センターのサイトから、ご覧ください。



トップページ



模擬授業



「書き込み」  
動画へ

をクリック

をクリック

### 「模擬授業「書き込み」動画」のページ

模擬授業 「書き込み」

TOP ^



カメラアプリで  
**撮って**



表示装置で  
**映して**



書き込みアプリで  
**書き込む**

 01 回路の画像に書き込んで、作業上の注意点を確認する	 02 児童生徒の発言を書き込んで、学級全体で共有する	 03 各班の実験結果を集約して書き込んで、考察させる	 04 撮影した身近な風景に書き込んで、「平行」に気付かせる
 05 図に補助線を書き込んで、問題の解き方に気付かせる	 06 マスキングすることで語句を隠し、既習事項を確認する	 07 児童生徒の絵画作品に書き込んで、特徴を際立たせる	 08 問題文や図に書き込むことで、説明を明確にする